心の科学 02 組

145705F 宮里 悠太郎

1. 言語について

■学んだこと

・人は、言葉を聞いた時に無意識のそれを意味ごとに分割し、前後の文との関連付けを行っている。
・人は生まれながらにして言語を獲得する能力を備えており、母親からの語りかけ、テレビの音声や周りの大人の会話から言葉を学んでいる。
・子供は言語を獲得する過程で、言葉を積極的に分析し、文法などの言語規則を自ら発見しようとする。

■考えたこと

子供は誰から教えられることもなく、周りの大人の会話やテレビの音声などで聞いた言葉から言語を獲得し、4,5 歳頃には完成するという。ならば、初めから獲得させるのが目的の音声を聞かせ続ければ、言語の獲得が早くなるのではないかと思った。また、そうして言語を獲得した後、すぐに別の言語の習得をさせれば幼少期からバイリンガルの人間が出来上がるのではないか。

■提案したいこと

子供の言語の獲得に、大きく関わるのは母親である。何故なら、一番子供と過ごす時間の長い存在であり、子供が言語を獲得するのに必要なテレビや他の大人などの存在を子供に近づけるか選べるからである。なので、子供に正しい、色々な言語を学ばせるために母親が積極的に学習させてほしい。

2. 素晴らしい「言葉」

「MASUQERADE さらけ出しても 染まらない 負けない顔になれ」 by ルーク篁
聖飢魔 II の楽曲 Masquerade の中の一節です。
周りと合わせるだけの『仮面』をつけてないで、自分を曝け出して、周りに染まらない人間にならずに生きろという内容の歌で、消極的で引っ込み思案な自分はこの歌のように生きていみたいです。